

2007年秋

発行 取手市議会派あしび 代表小泉眞理子 TEL : FAX (82) 3225
取手市谷中520/ http://www.k-mariko.com k-mariko@fureai.or.jp

龍ヶ崎地方衛生組合にたいする

談合の損害賠償請求を

10%で2億円

で有罪判決を受けた大手十一社は、十年以上前から談合組織「NS会」をつくらせて談合を繰り返してきました。

公正取引委員会は、談合の行われた42の事例のうち、直近の14件を独禁法違反の疑いで検事総長に告発しました。談合のあった全ての案件を告発しなかったのは、裁判を早期に終結させる意図があったからかと思われまます。その結果、14件すべてで有罪が確定したのです。

落札率を見てみると

談合の成立した案件では、工事の落札率が入札予定価格の90%から95%ぐらいであるのに対して、談合が成立しなかった場合は、高いもので85.23%、最も低い場合は47.62%となっており、その差は驚くばかりです。

龍ヶ崎の場合は

龍ヶ崎地方衛生組合の場合は、平成15年に入札が行われたため、公正取引委員会の調査対象となりましたが、告発された事例には入っていません。しかし、談合の行われなかった7件の中にも入って

の審決(注1)が下りた場合は10%の損害賠償をするという規定になっていますが、公正取引委員会が再度これらの事例について審決を下すことは考えにくいのではないのでしょうか。

損害賠償請求を

それならば、裁判を起こしても、龍ヶ崎地方衛生組合として損害賠償請求をすべきではないかというのが、今回の質問の趣旨でした。市長は衛生組合の副管理者ですから、少なくとも徹底的に資料に当たって、談合の有無を調査すべきであると質しました。

市長答弁

「大阪地裁の判決についてははじめて聞いたが、衛生組合の副管理者として、調査をした」という答弁でした。

市長は最小の経費で最大の

☆入札制度改革の進捗状況☆

まず、指名委員会の議事録公開ですが、この八月分から公開されることになりました。当分の間は、管財課窓口による閲覧ですが、時期を見てホームページにも掲載するとのことです。これは大きな進歩だ

と思います。非公開とされていた指名委員会が公開されれば、業者指名における不透明さは払拭されるでしょう。

第三者による入札監視委員会の設置については、現在検討中だそうで、今年度内の設置を目指すとのことでした。出来るだけ早く設置するよう見守っていきます。

効果を上げるように税金を徴わなければなりません。談合によって税金が不当な利益に消えたのでは、納税者の納得が得られませんので、是非とも徹底的な調査をし、調査の結果談合の確信が得られたら、損害賠償を請求すべきです。



今議会の重要案件は平成十八年度の各種会計の決算認定です。私は一般会計と西口・用地先行取得・競輪の三特別会計に反対しました。一般会計は旧自治体間の不均衡な予算配分についての反対、西口関係は取手市の身の丈を超えた計画遂行のための支出に反対しました。

それでもこれらの決算は全て賛成多数で認定されました。その他市長提案の全議案が可決されました。

議員の倫理決議が出されましたが、これは継続審査になりました。

「かわら版」を読んでのご意見・ご感想などをお寄せください。

注1 審決とは 公正取引委員会や特許庁が、裁判手続きに準じた審判手続を経て行う公権的判断

まり子の一般質問

農産物の直売所を

地産地消の取り組み

取手市は農家と消費者が混在している街です。従って市内での地産地消が可能な地域でもあります。

市内で取れる安全で安心な農産物を、顔の見える形で消費者に届けることが出来れば、生産者にとっても消費者にとっても喜ばしいことでしょう。

このあたりでは販売用の野菜類を栽培している農家は少ないのですが、直売所があれば、販売用の野菜栽培を増やす農家も出てくると思います。野菜を市場に出荷するとなれば大量に生産しなければなりません。直売所で売らるるほど多量に栽培する必要はありません。

ですから、現在は米を中心に生産している農家でも、自家用の畑で野菜を栽培して、直売所で売ることが可能です。隣の我孫子市でもそのような取り組みが進められています。

環境保護の面からも

農業は単に食物生産というだけでなく、環境保護という面からも重要な役割を担っています。植物は二酸化炭素を吸収して酸素を排出するといふ働きをしますから、地球温

暖化防止のためにも、緑の役割は大きいのです。

また、直売所での野菜については、農薬の使用を控えるといった取り組みをすることによって、農業者にとっても消費者にとっても、より安全性が高まるという効果も期待できます。

我孫子市の取り組み

我孫子市では、今年の6月にアンテナショップとして、農産物直売所を開設しました。道の駅沼南からあまり遠くない場所ですが、かなりのお客が入っているようでした。

ここでは「我孫子エコ農産物」という取り組みをしていて、低農薬の基準を満たしている農産物を「我孫子エコ農産物」に指定しています。こうした取り組みから、安全な農産物が生まれるのです。我孫子市では将来この場所を農業の拠点として整備する計画だと聞きました。

取手市でも是非

そこで、取手市でも市がリーダーシップをとって、農協などの農業団体・消費者団体と連携しながら、直売所の設置としてはどうかと提案しました。

市長の答弁

市長の答弁は非常に前向きなものでした。

市内でスーパーに直接野菜を納入している人の存在や、数人のグループで朝市などをしてる人たちの報告がありました。

市長のマニフェストにも「道の駅等での販売ルートをつくります」と掲げているので、現在開設のための研究を進めているとのことでした。

課題としては、冬場の野菜供給量の不足をどう補うか、

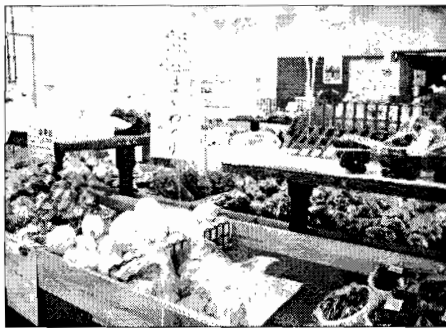
農産物以外も

直売所には農産物以外のものを置く事も考えても良いかもしれせん。漬物・納豆・せんべい・甘納豆・農業

公社の無添加味噌・酒など、市内で出来る食品を販売することも考えられるでしょう。

働く場所にも直売所が出来れば、

市内に働く場所が増えることにもなります。多くの市民の要望を聞きながら、直売所の設置を是非進めてほしいと思っています。



↑ 我孫子の農産物直売所

どうなった？ 請願・陳情

● 議会改革関連の請願・陳情

電子表決システムの導入を求めるもの、一般質問の一回一答方式採用を求めるものが有りましたが、すべて賛成多数で採択されました。議会改革が少しずつ進んでくるでしょう。

● 東西自由通路の中止を求める請願

市の意見聴取が締め切ら

れていないこともあり、もう少し経過を見ると言うことで、すべて継続審査となりました。

● 地域の県立高校の存続と、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見書提出に関する陳情

この陳情は委員会では賛成多数で採択でしたが、本会議では残念ながら不採択となっていました。

● 稲築堤工事に関する陳情

この陳情は、中央タウン脇の利根川土手の拡張に関するものです。土手の補強をすることには誰もが賛成なのですが、国交省のやり方については一部に問題があるということで、意見書提出を求める陳情でした。賛否両論があり、陳情項目別の採択の動議も出されて、私も賛成しました。しかし項目別採択は否決され、結局請願も不採択となりました。

市の刊行物の有償頒布

市長は計画段階の情報も提供し、意見を言えるシステムを作るとマニフェストに書いていました。意見を述べるためには正確な情報が必要です。それで、統計資料や市の予算書・決算書、各種計画書などを希望者に有償頒布することは出来ないかという質問をしました。

市長の答弁

「一部の問題なども含めて検討する。」

議会報告会

10月20日(土)

午前10時～12時 取手福祉会館

午後 2時～ 4時 小泉家卓球場

市政についてみんなで語り合ひましょう。

どうぞお越しください。お待ちしております。